

Q

齊藤市政2期目の 公約について

たかはし
高橋けんじ
剣二

議員



A

「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」の実現を目指す

問 六つの公約の優先度は。

答 公約は第6次鶴ヶ島市総合計画を進めるために必要な取組を具現化したものである。どれも重要な施策であり、密接に関わってくるため、優先順位をつけることは難しく、むしろ並行して進めることで、より高い相乗効果を生み出すものと考えている。

問 都市整備と産業・経済の項

目の実施の見通しは。

答 毎年度の予算編成の中でバランスを取りながら進めていく。人員については組織の見直しを含めて検討していく。

問 鶴ヶ島市の教育の現状と今後の課題について。

答 「生きる力」を育むため、学び合い学習やICT教育の推進など、様々な事業に取り組んでいる。



市長室の市長の机

Q

齊藤市政2期目の構想 について

はせがわ きよし
長谷川 清 議員

A

「安心」のまちづくりを実施

学校施設に関しては老朽化対策が課題となっている。学校再編や長寿命化に取り組み、良好な教育環境の整備・充実を図るように努めていく。

問 市長の考える今後4年の市政方針は。

答 本市の新たな可能性を広げ、将来への原動力となる魅力の創出にも取り組み、「しあわせ共感安心のまち つるがしま」の実現を目指すしていく。



市役所庁舎

問 齊藤市長の2期目の市政の経営戦略について尋ねる。

答 本市を取り巻く環境はより一層厳しくなると考えているが、誰もが安心して暮らせるまちづくりをすることが私の責務である。また、人口減少と高齢化に伴う自治体の経営資源の制約に対応するために、これまでの業務の抜本的な見直しやICTを活用したスマート自治体への転換など大きな構造転換が必要であると考えている。さらに、今後はより一層、行政だけではなく、市民の皆様や地域の方々、企業との連携による新しい地域づくり、まちづくりを推進していく必要があると考えている。

限られた経営資源を有効に活用し、柔軟な発想を持って本市の特性を生かした自治体運営により、本市に住んでよかったと多くの人に共感してもらえらるように取り組んでいく。

問 齊藤市長が2期目の市政を担うに際して市民に提示した六つの公約について尋ねる。

答 子育て、教育、市民生活、健康・福祉、都市整備、産業・経済の六つである。

第6次鶴ヶ島市総合計画における三つの重点戦略を柱に、六つの公約と合わせて、市政を運営していく。